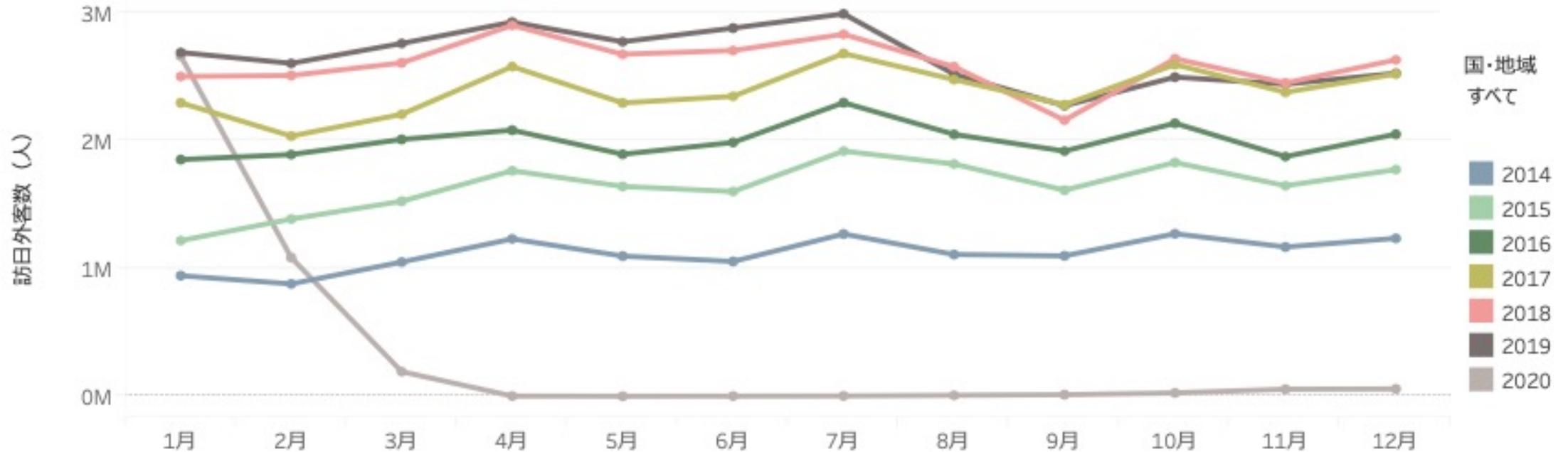


ポストコロナに向けた インバウンド戦略



1. コロナ禍におけるインバウンド市場

(1) 訪日外客数の推移 (月別)



(2) 訪日外国人旅行消費額

2019年 (確報) ▷▷ 4兆8,135億円
2020年 (速報値) ▷▷ 7446億円

前年比で84.5%減

(資料出所：日本政府観光局 (JNTO))

2. 観光需要回復に向けた日本政府の政策

日本政府は、「本格的なインバウンド回復に向け、国の支援によるホテル、旅館、観光街等の再生、魅力的な滞在コンテンツ造成、観光地等の受入環境整備、国内外の感染状況等を見極めた上でのインバウンドの段階的復活の取組を推進する」政策を発表。

(1) 国内外の観光客を惹きつける滞在コンテンツ充実

- * 地域に残る縦割りの打破と地域に眠る観光資源の磨き上げ
- * スノーリゾートやアドベンチャーツーリズム等の高付加価値
- * 滞在型コンテンツの造成・寺や社寺、古民家、グランピング等の個性ある宿泊施設整備
- * 上質なサービスを求める観光客誘致のための環境整備
- * デジタル技術を活用したコンテンツ磨き上げ等

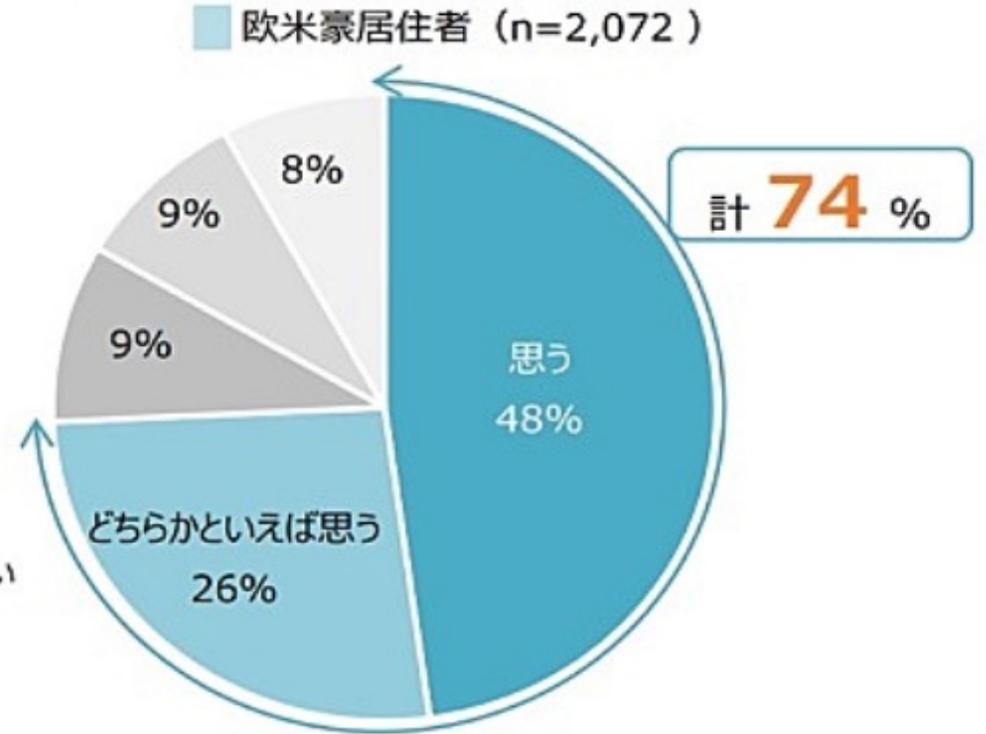
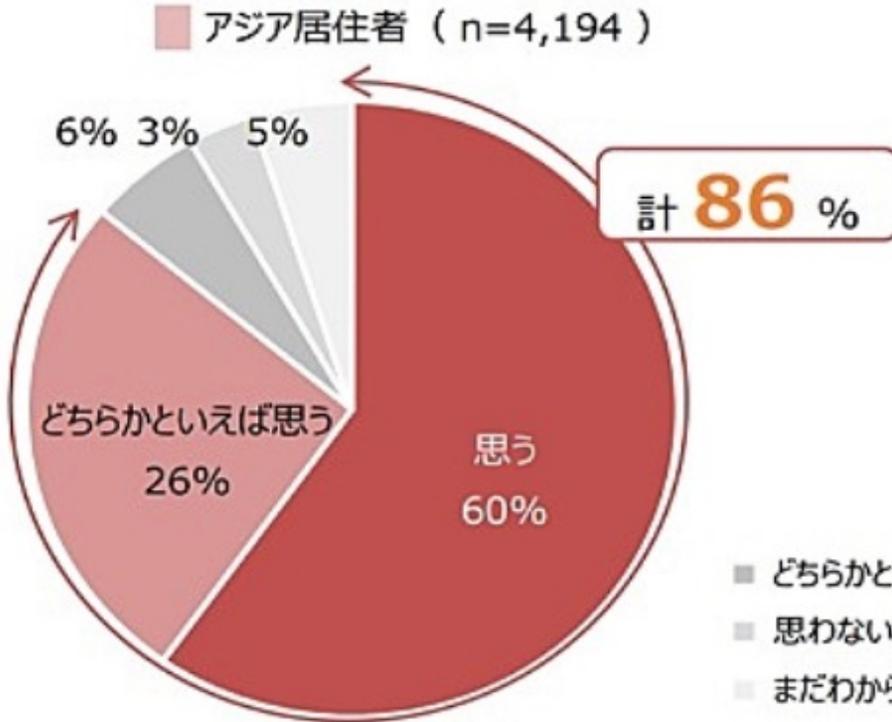
(2) 国内外の感染状況を観光客を見極めた上でのインバウンドの段階的回復

- * 感染状況が落ち着いている国・地域から、ビジネストラックに準じた防疫措置を徹底の上、管理された小規模分散型パッケージツアーを試行的に実施
- * 観光資源を含む多様な魅力や安全・安心への取組に関する情報等の発信による訪日プロモーションの実施

(資料出所：観光庁HP『感染拡大防止と観光需要回復のための政策プラン』の決定について(2020年12月3日))

3. ポストコロナにおける海外旅行への関心

全員 新型コロナの流行が終息し、平常状態に戻ったとき、また海外観光旅行をしたいと思うか（回答はひとつ）

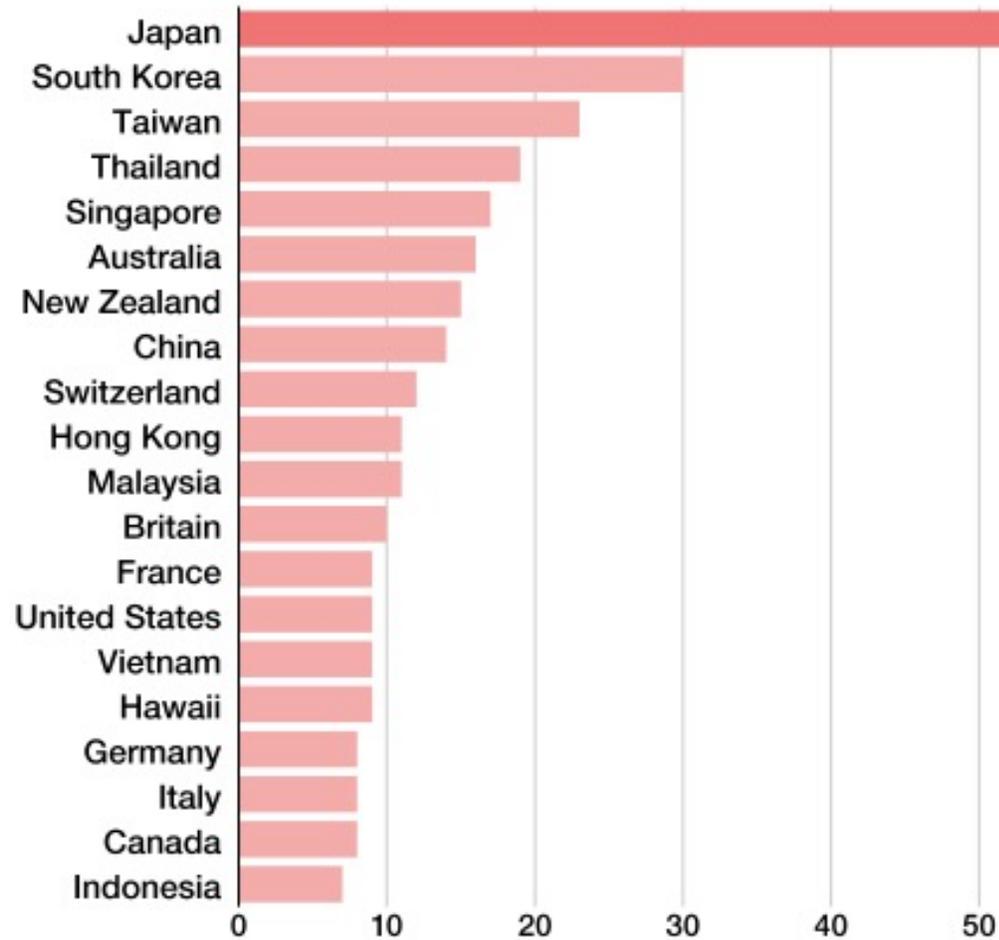


Do you want to go abroad for lesiure again after COVID-19 ends?

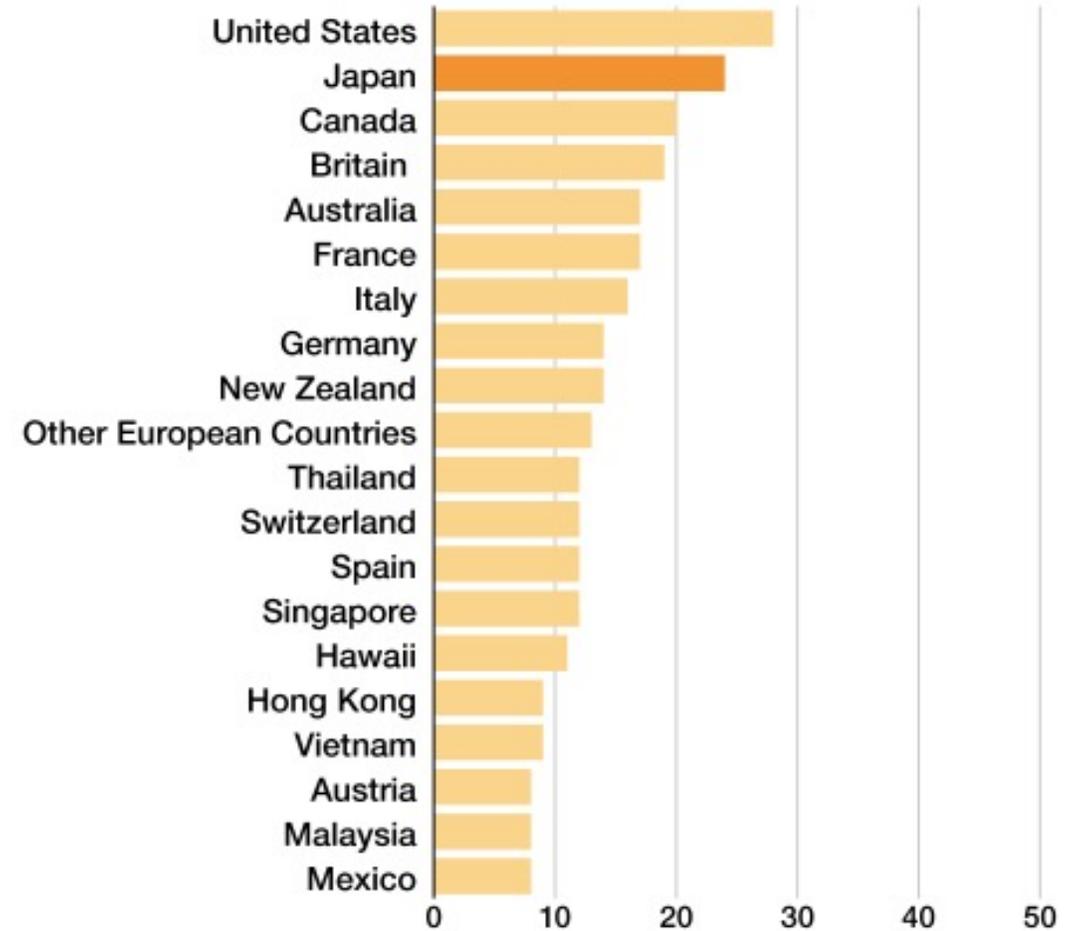
(資料出所 : Travel Voice HP, "Japan is selected as the top destination in Asia and the second in US, Europe and Australia in willingness of post-COVID-19 travel" (2020年8月27日))

4. ポストコロナに行きたい海外旅行先

(1) アジア居住者 ▷ 日本第1位

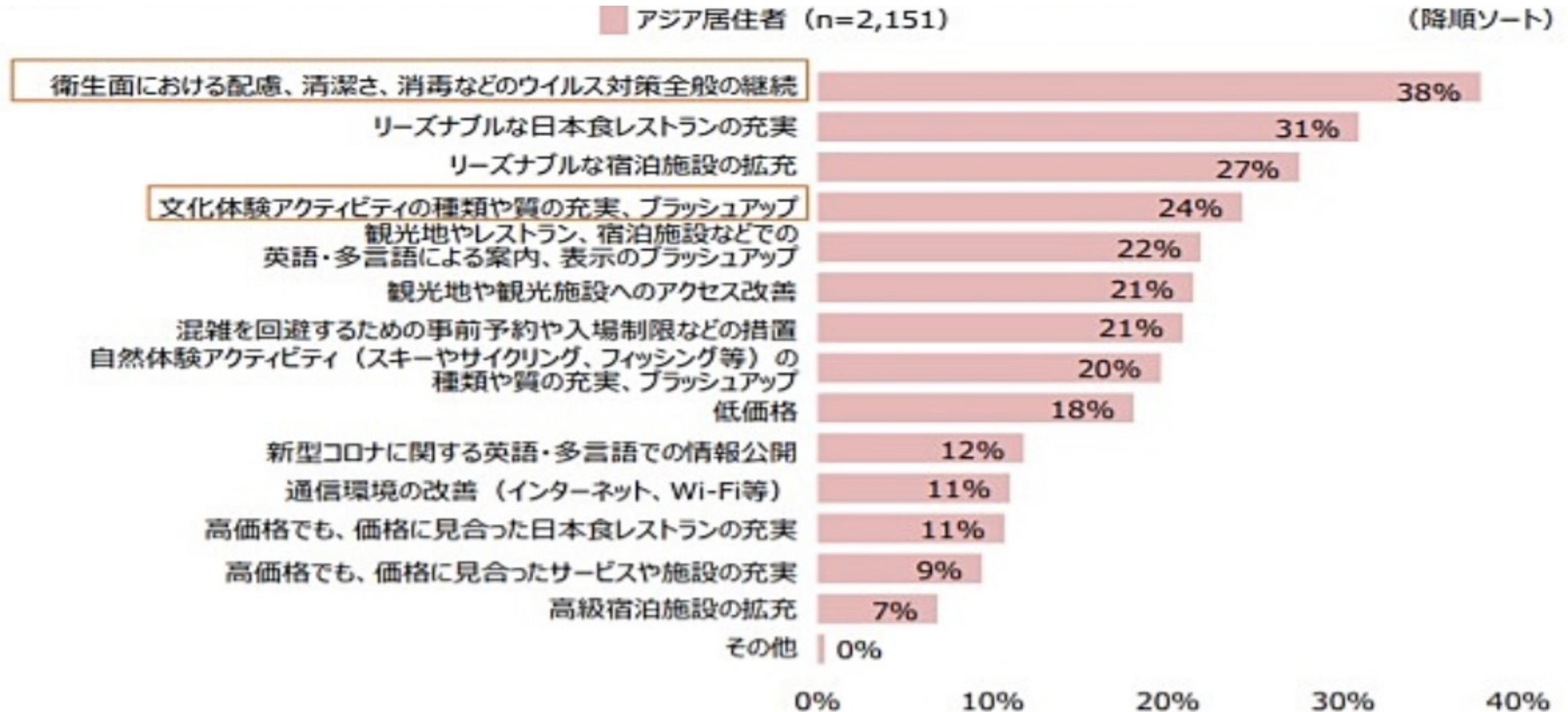


(2) 欧米豪居住者 ▷ 日本第2位



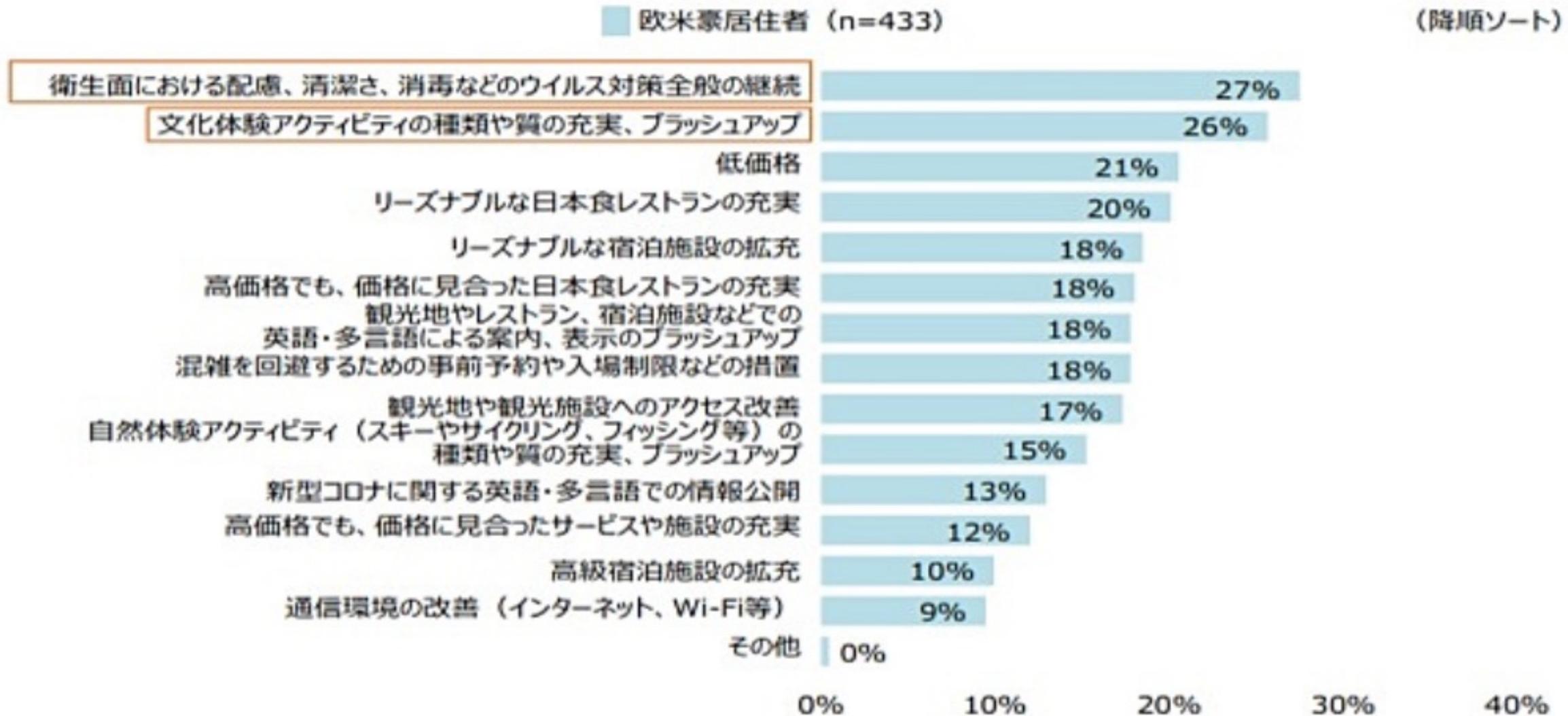
(資料出所 : Nippon.com” Japan Tops List of Places Foreign Travelers Want to Visit After the Pandemic (2020年9月4日))

5. ポストコロナにおけるアジア居住者の日本旅行への関心



(資料出所 : Travel Voice HP, "Japan is selected as the top destination in Asia and the second in US, Europe and Australia in willingness of post-COVID-19 travel" (2020年8月27日))

6. ポストコロナにおける欧米豪居住者の日本旅行への関心



(資料出所 : Travel Voice HP, "Japan is selected as the top destination in Asia and the second in US, Europe and Australia in willingness of post-COVID-19 travel" (2020年8月27日))

7. ポストコロナに向けたインバウンドアプローチ

統計結果 = 「文化体験アクティビティの種類や質の充実、ブラッシュアップ」への関心が高い

アプローチ1 ▷ 旅前 ▷▷ バーチャルツーリズム/オンラインツアー (Virtual tourism / Online)

VRなどを活用して、目的地やホテルを探索するユークでイマーシブな体験をする仮想旅行スタイル。リアル旅行へ誘導する潜在的旅行客の裾野を広げる。



アプローチ2 ▷ 文化体験 ▷▷ コミュニティツーリズム (Community tourism)

地域の歴史、文化、産業、暮らしなど、その地域ならではの魅力を提供する地域主導型の旅行スタイル。地域の資源や文化の保持と、雇用の創出や交流人口の増加を両立できるといったメリットも有り。



8. ポストコロナに向けたインバウンドアプローチ

アプローチ3 ▷ アクティビティ ▷▷ ウェルネスツーリズム (Wellness tourism)

自然、温泉や身体に優しい料理を味わい、心身ともに癒され、健康を回復、増進、保持する新しい旅行スタイル。欧米ではメジャー。三密を回避し、免疫力アップに繋がるプログラムの提供ができる。Global Wellness Instituteの試算によると2022年の市場規模95兆円超。



アプローチ4 ▷ ブラッシュアップ ▷▷ コンシャストラベル (Conscious Travel)

地球環境や地域に配慮し、先住民文化や野生動物の保護活動など、あらゆるサステナビリティを意識して行動する旅行スタイル。

